

マリンライフ

[Vol.94]

【第81回自然観察会】

今年最大の低潮日！ 早朝の海で宝探し



1月31日(日)に行われた早朝観察会。この日は干潮位なんと - 41cm(午前4:15)という今年最大の低潮日。早朝3時にもかかわらず、市内外から小学生や保護者、教員や大学生など、総勢30名の参加者が集まりました。前日から降り始めていた雨も観察時には止み、懐中電灯やヘッドライトで手元を照らしながら、岩のすき間にかくれた生き物たちを思う存分探すことが出来ました。いつも干潮時に海に出ている我々環境館職員でさえ、今いる位置が分からなくなるほど、沖の方まで潮が引いていました。野外での観察を終えると、ひとまず環境館へ。みんなでぜんざいを食べて温まった後、いよいよ持ち帰った生き物の分類です。「何が採れてるかなあ？」とバケツの中をのぞきながら、自分たちで生き物をグループ分け。今回も、ヨウジウオやアミメハギ、大きなクロアワビやサザエ、色鮮やかなシロウミウシやヒカリウミウシ、たくさんの種類のウニやヒトデ、最近見ることが少なくなったニッポンウミシダなども採集されていました。

日頃経験することのない神秘的な夜の海にでかけ、不思議な生き物たちを話のたねに、楽しそうに交流している姿を見て、今回の観察会も大成功だったなあと感じました。(事務局)



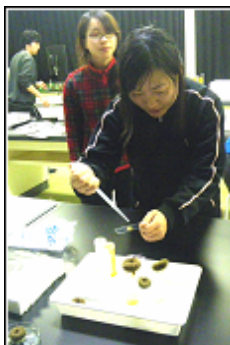
< 真っ暗の中で宝探し >



そんな生き物が
いるのか～！

観察会の後も・・・

中学校の先生たちは、観察会の後も引き続き自主研修会！理科の授業で活用しようと、八川慎一教諭(能美中)の説明を聞きながら、パフンウニを使った発生実験やDNA抽出実験にチャレンジしていました。



卵割中
です！



「人と自然の間にこそ科学がある」

「身近な自然」の中にある不思議やおもしろさを紹介し、みなさんとともに「ふるさとの自然」の魅力について見つめていく「ふるさと自然科学フェア」。第4回の今年は、「人と自然の間にこそ科学がある」と題して、市内小学生による身近な自然を題材とした学習内容の発表や、各分野で活躍されている若手理系出身者による「おもしろトークショー」などを行います。当日は、会場内に科学研究作品や写真の展示なども行いますので、みなさんぜひ見に来てね！

日時：平成22年3月13日(土) 13:30～

場所：環境館（体育館）



【第1部】13:30～15:00

小中学生による発表

「身近な自然を題材とした学習発表」

学校の授業で取り組んだ学習内容や科学研究の発表、おもしろ実験を紹介するサイエンスショーなど、「身近な自然」の魅力について、小学生たちが紹介してくれます。各グループによる口頭発表です。今年はどんな発表が飛び出すか？お楽しみに！



< 若きサイエンティストたち >

- 大古小学校（2グループ）
科学研究の発表
- 切串小学校（1グループ）
授業でとりくんだ学習内容の発表
- 高田小学校（1グループ）
授業でとりくんだ学習内容の発表

休憩 15:00～15:15 （会場内の展示をみてね！）

【第2部】15:15～16:30 若手理系出身者にきく！

☆おもしろトークショー☆ 「理系っておもしろい！」

◆ゆかいな「おしゃべりすと」◆

富川 光：広島大学大学院教育学研究科
自然システム教育学講座 講師

清水 則雄：広島大学総合博物館
学芸職員

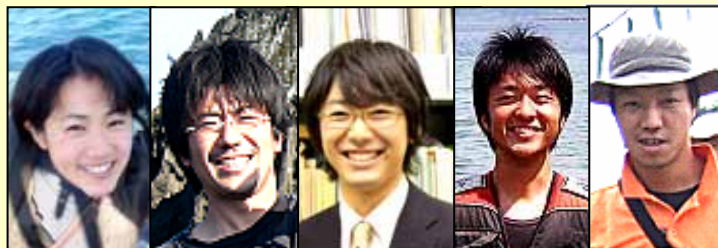
大川内浩子：広島大学大学院生物圏科学研究科
海洋生態系評価研究室 研究支援員

鎌崎 賢三：下関市立しものせき水族館海響館
展示部海獣展示課 職員

平山 良太：佐賀龍谷学園龍谷高等学校
教諭（元環境館専門員）

聞き手：西原直久（環境館館長）

博物館や水族館、大学や高等学校など、各分野で活躍されている若手理系出身者を招いて、パネルディスカッションを行います。現在の職業の魅力を紹介していただきながら「子どもの頃から理科が好きだったの？」「なぜその職業を選んだの？」「どういう仕事なの？」といった質問をぶつけ、これまでの体験談や自然科学への熱い思いなどについて、おもしろおかしくお話していただきます。





大学生といっしょに実験しよう!

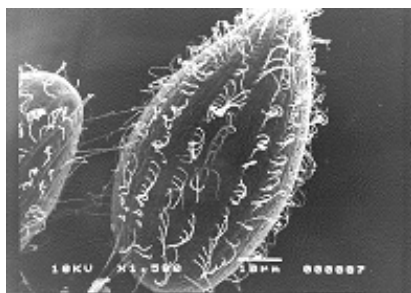
今年も「広島大学」で開催!!



「ミクロの世界を見てみよう!」



昨年の様子 (in 広島大学)



【電子顕微鏡でみた繊毛虫テトラヒメナ】

広島大学大学院理学研究科・数理分子生命理学専攻・分子遺伝学研究室の山本卓教授と研究室のみなさんの協力のもと、大学生たちといっしょに実験を行う特別研修会。

今回のテーマは、「ミクロの世界を見てみよう!」です。大学内にある『走査型電子顕微鏡』を使って、ミクロの世界をのぞいてみます! 走査型電子顕微鏡は学校などにある光学顕微鏡とは違い、光より波長の短い電子線を試料にあて、はねかえった電子を検出してモニターテレビ

上に映し出し、極微の試料でも立体的に観察することができます。難しそうに聞こえますが、大学生たちがいっしょに実験してくれるので大丈夫! また当日は、大学の研究室内を見学しながら、実際に使っている機材や道具などについても紹介していただけますので、自然科学に興味のある方はふるってご参加ください。

ぜひこの機会に「大学」を体験してみませんか。

< 今回のテーマ >

「ミクロの世界を見てみよう!」

日 時: 平成22年3月14日(日)

8:30 ~ 18:00

場 所: 広島大学理学部(東広島市)

集 合: 環境館 8:30 集合

(バスで環境館 広島大学間を送迎します)

昼食は各自で持参してください

申 込: 3月10日(水) 17:00までに

環境館事務局までお申し込みください。

(定員は先着20名とさせていただきます)

広島大学 体験ツアー!

当日の日程(予定)	
8:30	集合 環境館 発
11:00	広島大学 着
11:00	山本先生・学生紹介 「研究室見学」
12:00	見学終了
12:00	昼食
13:00	休憩
13:00	研修会 開始 「お話と実験」
16:00	かたづけ
16:00	広島大学 発
18:30	環境館 着 解散

(交通事情により帰りの時間は多少変更になる場合があります)



【平成21年度「ふるさとの自然」作品コンクール】

海辺の生き物絵画 入賞者決定!



江田島市周辺にすむ海辺の生き物の絵画を募集した、「ふるさとの自然」作品コンクール。今年度は、643点もの応募がありました。本当にありがとうございました。審査は、小学校低・中・高学年、中学校の4部門に分けて行い、多くの優れた作品の中から入賞作品80点(優秀20点、入選60点)を選定し、表彰させていただくことになりました。どの部門も年齢に応じた力作で、見ごたえのある素晴らしい作品ばかりでした。入賞作品は、今後、各種イベント会場や環境館内での展示を行い、多くのみなさんに見ていただく予定です。

現在、入賞作品を掲載したカレンダーを製作中です(3月初めには完成予定)。各小中学校や市内公共施設などに配布して掲示してもらう予定ですので、楽しみにしてくださいね。

優秀作品の一例



潮見表 3月の観察に適した日時 (干潮時刻と潮位)

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
時分	3:58	4:38	5:16	5:52	6:28	7:05	7:46	8:47	11:39		0:54	1:47	2:27	3:00	3:30	
cm	-25	-17	5	36	72	110	146	176	183		94	74	56	42	34	
時分	16:21	16:58	17:34	18:10	18:45	19:22	20:05	21:14	23:29	13:07	13:52	14:25	14:53	15:20	15:47	
cm	22	7	2	7	22	45	72	99	108	161	136	112	91	71	54	
3月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
時分	3:59	4:29	4:59	5:31	6:04	6:39	7:21	8:17	10:01		0:04	1:16	2:10	2:55	3:37	4:16
cm	31	34	43	57	77	100	127	154	170		70	46	24	12	13	25
時分	16:14	16:43	17:13	17:43	18:16	18:51	19:34	20:36	22:18	12:05	13:11	13:58	14:39	15:17	15:54	16:31
cm	38	27	20	18	23	34	52	72	83	153	120	84	50	21	0	-10

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

潮位30cm未満(網罟がにしている日)が調査に適しています。

広島県の暦象と潮位(日本気象協会中国センター)から

事務局だより

- おおがき公民館まつり・・・3月6日(土)、3月7日(日)に大柿公民館で行われる「第31回おおがき公民館まつり」に環境館も参加します。4ページでも紹介しています、平成21年度「ふるさとの自然」作品コンクールで入賞した作品を印刷した「絵はがき」の展示や海辺の生き物の楽しいハンズオン展示も行いますので、ぜひ見に来てください!
- 珍しい生き物・・・環境館1階のアクアギャラリーでは、先日の早期観察会で捕れた、ニッポンウミシダを展示しています。その他にもいろんな生き物がいいますので、ぜひ見に来てね!
- 投稿・情報大募集・・・みなさんからの投稿をお待ちしております。次号Vol.95(3月15日号)原稿締切は、2月10日(水)です。

江田島市教育委員会 生涯学習課 大柿自然環境体験学習交流館(環境館)

環境館長: 西原直久
専門員: 清家 暁
" : 山本真悠子
支援員: 木村さつき



(友の会会員 シニア 133名 ジュニア 88名)

事務局 調査会・研修会の申込み、環境館利用に関する問い合わせ先です。

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

大柿自然環境体験学習交流館

TEL(0823)57-2613

FAX(0823)40-3100

E-メール kankyokan_mail@yahoo.co.jp

ホームページ http://www.urban.ne.jp/home

/fukaesho/kankyokan/

あとがき 先日、事務局で飼っているニホンヒキガエルが、脱皮をしていました。カエルが脱皮をすることを知らなかったのが、驚きました!貴重なシーンを見ることができました (山本)